



内田えつし県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

旧江戸川の架橋計画 検討経過をオープンに

2月県議会 予算委員会

市民との対話を大切に、ふるさと浦安市の発展に力を注いでいる内田悦嗣県議は2月県議会の予算委員会で質問を求め、江戸川に架橋が計画されている(仮称)堀江橋の進捗状況や人口減少・少子高齢社会に対応した施策検討事業、福祉のまちづくり整備基準について県の施策、方針を質しました。内田県議の質疑と県担当者の答弁を、議員発議で制定されたいじめ防止対策推進条例と併せて紹介します。



パネルを示しながら質問する内田悦嗣県議

内田議員 仮称・堀江橋については、東京都の放射16号線の延長として架橋が計画されている橋梁で、震災を受け、災害時の避難路としても地域の要望がある橋梁で、私も何度か一般質問で取り上げている。その際、東京都の調整会議の中で協議し、交通量等について調査検討しているということとで答弁をいただいているが、その協議内容、調査結果というものが一向に表に出てこない。架橋の必要性については、十分認識しているということなので、もう少し、検討の内容を県民に知らせていってほしいと思う。そこでまず、これまで行っ

てきた調査結果について、どのような状況になっているのかをうかがう。
県土整備部長 浦安市など葛南地域における都県境では、江戸川及び旧江戸川に架かる限られた橋梁に交通が集中することから、交通混雑をきたしているところ。このようなことから、これまで交通量調査などを行い、都県境の浦安橋につながる浦安駅前交差点において、最大420台の渋滞を確認するとともに、東京都と「道路橋梁整備調整会議」を通じて、交通量に関する情報交換や整備上の課題について協議を行っているところ。内田議員 浦安橋下の浦安駅前交差点で渋滞が確認されているということ、事業の必要性については検証されてきているということであると思う。しかし、事業がなかなか進まない。都県境の橋だから、当然、広域的な道路形態というものを勘案していかなければならない、維持費などの面からも架ければいいという話でないことは承知している。

ただ、地元の住民としては、橋が架かる前提で都市計画が進められているわけだから、なぜ架からないのか、いつ架かるのか、そのあたりを気にするのは当然。そこで仮称・堀江橋の架橋を進めていくための課題はどのようなものがあるのか、説明して欲しい。
県土整備部長 (仮称) 堀江橋は、旧江戸川を渡り、浦安市計画道路堀江青野線と東京都の放射16号線を結ぶ新たな橋梁となることから、架橋に伴う周辺道路への影響や、道路線形の調整など道路構造上の課題があると認識しております。

内田えつし県議 プロフィール

経歴

- 昭和40年 浦安市(当時町)堀江生まれ
- 昭和63年 浦安市役所入庁
- 平成15年 浦安市議会議員当選
- 平成19年 千葉県議会議員当選
- 平成23年 千葉県議会議員再選

現職

- 県議会 文教常任委員会委員長
- 自民党 政務調査会審議委員 副幹事長(総務局長)

再質問 **内田議員** 今後の事業をどのように進めて行くのか。
道路計画課長 架橋に伴う周辺道路への影響を確認するため、引き続き、交通状況の推移を調査するとともに、整備上の課題などについて、東京都と「道路橋梁整備調整会議」を通じ、協議してまいります。

再質問 **内田議員** 産業・生活を支える幹線や災害時の避難・緊急輸送路としての、江戸川に架かる橋梁が足りないと思うが、(仮称)堀江橋の必要性についてどのように考えているのか。
県土整備部長 千葉県の場合、江戸川、利根川といった大河川に囲まれており、いずれも渡るためには長大橋が必要となります。従いまして、絶対数として橋梁の数が少ない、そこに交通が集中し、渋滞している。堀江橋においても同じ論理で、集中しているために渋滞をしている状況で

再質問 **内田議員** 今後の事業をどのように進めて行くのか。
道路計画課長 架橋に伴う周辺道路への影響を確認するため、引き続き、交通状況の推移を調査するとともに、整備上の課題などについて、東京都と「道路橋梁整備調整会議」を通じ、協議してまいります。

再質問 **内田議員** 今後の事業をどのように進めて行くのか。
道路計画課長 架橋に伴う周辺道路への影響を確認するため、引き続き、交通状況の推移を調査するとともに、整備上の課題などについて、東京都と「道路橋梁整備調整会議」を通じ、協議してまいります。

●県政や浦安市のご相談はお気軽にどうぞ

内田えつし 県議事務所

〒279-0041

浦安市堀江3-22-1

TEL.047-351-6030

人口減少・少子高齢社会に対応した施策検討事業

選ばれる千葉県を模索 現状5ゾーンの細分化必要



こども病院の現況を調査する内田悦嗣県議（右）

内田議員 5つのゾ

ーンに分けて検討されるわけだが、東葛・湾岸ゾーンは全県の3分の2の人口400万人を抱えている。高齢化が進行していく中で重要となる地域保健医療圏や地域振興事務所ともリンクしていない。医療資源、道路交通網、商業環境等々、東葛・湾岸ゾーン内でも大きな違いがあると感ずる。

検討に当たっては、総合計画の5つのゾーンをもっと細分化していくべきと考えるがどうか。

画の5つのゾーンごとの検討について、ゾーニングと他の計画との整合はどのように図られるのか。

知事 総合計画は、地域

全体の大きな方向性を考えるためのものです。そのことから、人・物の流れを勘案しつつ、地域の意見を聞いて5つのゾーンを設定したものです。

県の各種施策に取り組むに当たっては、それぞれにふさわしい広がり方を考える必要がありますが、方向性自体は、地域全体の大きな方向性に沿って施策が進められるべきものであると考えています。

ゾーニングして地域ごとの方向性を出すのは、千葉県として久しぶりだと思う。そこだろうか、総合計



県担当者の答弁を聞く内田悦嗣県議

にも質的にも大小様々です。地域にどのような行政資源があるかは地域によって異なるので、課題を拾い上げ、

いじめ防止対策推進条例

平成24年度における千葉県県のいじめ認知件数は2万件を超えており、この深刻化している「いじめ」の防止に向け、県民全体で今一度いじめ問題を真剣に考え、いじめ防止の取り組みをさらに進めていくことが必要となつていきます。

こうしたことから、自民党はプロジェクトチームを設置し1年以上かけ

再質問

内田議員 検討結果については細分化したものでアウトプットされるということでしょうか。

少・少子高齢化については、これまでどちらかというと全県的な問題として捉える傾向にありましたが、今回の事業では、実情の異なるそれぞれの地域ごとに、適切な対応策を検討することに意義があると考えています。

また、教育関係者など各方面からの意見を参考に、「スクールカウンセラー」等の確保及び適切かつ充分な配置、「県外の学校に通学する児童等がいじめ被害にあった場合の対応」、「知事の権限で重大事態への対応に必要な調査等を行うこと」など、千葉県独自の規定が設けられています。

議員発議で制定

福祉のまちづくり 時代に即じた整備基準に

内田議員 福祉のまちづくり整備基準の見直しについてうかがう。

平成6年に、ホテルや銀行、コンビニなどが利用する公共性が高い建物を、高齢者や身体障害者が利用しやすいようにしようという法律、ハートビル法が施行され、平成8年に千葉

県も福祉のまちづくり条例を制定し、整備基準、整備マニュアルを制定し、バリアフリー、ユニバーサルデザインの見地に立ったまちづくりを進めてきた。

しかしながら、法においては、バリアフリー新法などが出来、整備マニュアルも時代の移り変わりとともに、

見直しが必要である。一般質問でも質問したが、その際整備基準について見直しを進めていくという答弁をいただいている。新たな整備基準はいつ頃策定されるのか。

健康福祉部長 千葉県福祉のまちづくり条例施行規則に規定されている整備基準については、新しい技術や設備、施設の利用形態などを踏まえた見直しを行うため、関係部局とも連携し、検討を進めています。今後

再質問

内田議員 「施設整備マニュアル」はいつ頃改訂版が出るのか。

健康福祉部長 新たな整備基準を策定しましたら、「施設整備マニュアル」につきましても、できるだけ早い時期に改訂するよう努めてまいります。

再質問

内田議員 年内には策定だということだが、なるべく早くお願いしたい。

現状でも、例えばオストメイト対応のトイレ、建物歩道における点字ブロックの配置のあり方等々、時代の移り変わりとともに改正していかなければならない部分もあるので、そのあたりもきちんと加味していただきたい。

もう一つは、見直しを行ってそれをどのように周知していくかが課題となる。そこで、新たな整備基準の策定後、それに基づく施策をどのように進めていくのかをうかがう。

健康福祉部長 新たな整備基準の策定後、この整備基準を分かりやすく解説した「施設整備マニュアル」の改訂を行い、ホームページなどにより建設・設計関係者に周知するとともに、改正内容を踏まえたパンフレットを作成し、施設所有者等に配布するなど、広く普及啓発に努めてまいります。